



**2023年度 年主題くともにつむぎだす～希望の中で～**

**0・1・2歳児11月主題 「みつける」どれがいい**  
月のねがい  
◎お祈りや賛美歌を通して心地よさを感じる(0)◎興味、探究心が深まり、活動的になる(0)◎たくさんの自然物に触れ、喜ぶ(0)◎秋の実りや移り変わりを見つけて喜ぶ(0)◎神さまを身近に感じて喜んで賛美やお祈りする(1.2)◎自分で考えたことや思ったことを言葉にして表す(1.2)◎自然の恵みを感じ、また触れて遊びや生活の中に取り入れる(1.2)

**3・4・5歳児11月主題 「深まる」**  
月のねがい  
◎神さまがすべてのことを備えて下さることを知り、感謝する(3)◎友だちと同じイメージをもって、遊びを続けることも嬉しくなる(3)◎秋の自然物を集めたり、触れたり、並べたりして楽しむ(3)◎五感を通して秋の実りや季節の移り変わりを感じ、神様への感謝の思いを分かち合う(4.5)◎思いを伝え合い遊ぶ中で、上手くいかに困る経験や、気持ちを通じ合う喜びを感じる(4.5)◎落ち葉やどんぐり、枯れ葉など様々な自然の素材を身近に感じ、製作や表現に取り入れる(4.5)



**小さい「できた」、うれしいね**

朝晩が肌寒くなり、急に秋らしい気候になりました。園庭の落ち葉の絨毯の上に0歳児さんが座っていると、お姉ちゃんたちがふわっと投げて、落ち葉のシャワーです。落ちてくる葉に手を伸ばし、嬉しそうに0歳児さんに見ている方もほっこりします。

運動会、おすもう大会を終え、身体を動かしてどんどん活発になってきた子どもたち。身体が動くようになってきたことで、指先も少しずつ器用になったり、しゃがむ、踏ん張るなど、1学期よりも身体の使い方が上手になってきたように感じます。

2歳児クラスでは、少しずつ身の回りのことを自分でしてみようと挑戦中です。帽子の後ろの小さいゴムを掛けてみようと、クラスみんなでやってみることに！なかなかうまく掛けられず「できない」と言う子もいましたが、「ゆっくりで大丈夫だよ」と声をかけると、友だちの動きを真似して、掛けることに成功！周りの友だちも先生たちも一緒になって「イェーイ！！」とジャンプして、ハイタッチして大喜びでした。靴を自分で履いたり、シャツを脱いだり、トイレでおしっこに成功したりと、小さな『できた』がいっぱい10月でした。

運動会の劇ごっこも一番人気は、『アンダーザシー』や『嵐』の年長さんのお遊戯です。お兄ちゃんお姉ちゃんたち、そして友だちがいることで、“あんなふうになりたいなあ”と憧れを抱いている姿がステキです。小さな『できた』を周りのみんなと保護者の皆さんと喜びを共有して、次の『がんばるぞー！』のパワーに繋げられたらと願っています。

朝晩が冷え込み、体調を崩しやすい時期です。11月も「早寝、早起き、朝ごはん」。そして少し薄着で元気に乗り切りましょう。

大河



**今月の聖句 「あなたの隣人を 自分自身のように愛しなさい。」 レビ19:18**

「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」。これは、聖書が教える中心的教えの一つです。最初にこの教えを受け取ったのは、今日「ユダヤ人」と呼ばれることになるイスラエルの人々でした。今月7日、ガザ地区を中心に活動するイスラム武装組織「ハマス」が2千発のロケット弾をイスラエルに向けて発射し、双方の攻撃が激化しています。ガザ地区の面積はほぼ種子島と等しいのですが、そこに220万人ものパレスチナ人が生活しています。ガザ地区・イスラエル双方合わせて、すでに7100人の死者が出てしまいました。隣人同士であるにも関わらず、憎しみと殺戮の連鎖が続いています。悲しいことで、ニュースに触れる度に心が痛みます。

イエス・キリストは、ユダヤの宗教指導者らに「隣人とは誰ですか？」と聞かれた際、有名な「良きサマリア人」の譬えを話されました。ユダヤ人から見下されていたサマリア人が、傷付いたユダヤ人を助けてやったという話です。頭ではよく理解出来るのです。けれども、これまでの歴史的な背景や、個人的な恨みなどから、なかなかそれが実行に移されずに世の中は歴史を刻んできました。「負の連鎖」を断ち切れずに、今もウクライナ・ロシア戦争、ハマス・イスラエル戦争を起こしてしまいました。そして、戦争によって犠牲となるのは、いつも社会的弱者です。戦争は人間の罪が行き着くところ、その悪が実を結んでしまうところなのです。

なんていい、日頃から小さな隣人愛を持ちましょう。「負の連鎖」を断ち切るには、待っているだけでは出来ません。自分から行動しなければ、その思いを持たなければなりません。協力牧師 池田基宣

**11月の行事予定**

6日(月)	学校へ行こう(年長児)
7日(火)	10・11月誕生会
10日(金)	給食試食会(こすもす)
11日(土)	秋の一日遠足・弁当日
24日(金)	役員会10:00～
25日(土)	クリスマス会
29日(水)	給食バイキング

**12月の行事予定**

2日(土)	クリスマス会(9:30～)
8日(金)	もちつき大会
11日(月)	試走(予備日12日)
12日(火)	絵本の会クリスマス公演
16日(土)	持久走大会
18日(月)	持久走大会予備日
21日(木)	終園式(1号午前保育)
28日(木)	御用納め・弁当日
12/29~1/3	休園

**令和6年度入園説明会**  
11月25日(土)11時より  
1号入園願書受付開始  
12月1日(金)  
ご紹介を宜しくお願いします！



**「歩育」のすすめ**

今年のおすもう大会は二日とも秋晴れに恵まれ、多くの皆さまの応援をいただき感謝でした。二日目の後の突如の突風には驚かされた成長を感じた後、飯ごう米を食べたり、すもも大会でぶつかり合ったりと、スポーツと食欲の秋を楽しむことが出来ました。そして、気持ち早くもクリスマス。皆さんと共に今年もお祝いできることを心から祈っています。

この数年十一月の当欄では幼児の体の発達や運動について取り上げてきました。今回は「歩育」と呼んでいるのですが、実感している身。週に一回は時間ほど散歩に出かけます。毎日少し歩かなくても歩かなくては、歩くことにより子ども達の心と体を育むことを「歩育」と呼んでいるのです。散歩にはなぜ歩くことが子どもの発達に良いのでしょうか。散歩には大きく分けて三つの効果があると言われています。一つには、運動能力が高まり、体力がつくこと。歩行は全身運動なんです。第二の心臓とも言われる足を動かすことで血行が良くなり、身体を温める効果や食欲促進、安眠効果も期待できます。また、散歩しながらジャンプしたり走ったりすることでバランス感覚が鍛えられ、運動機能の発達にも繋がります。歩くだけでも体力をつけることができます。第二には、五感を刺激し脳の成長を促すことです。大人にとっては何気ない当たり前の風景が、子どもにとっては驚くべき大発見であるかもしれませぬ。屋外には家の中にはない刺激がたくさんあるため、五感全てが刺激されます。五感を使うと脳が刺激され、想像力や記憶力、発想力が育まれます。三つ目の効果は血行を促進し、セロトニンで心が安らぐことです。散歩をする心が安らぐ。これには、セロトニンという脳内物質が、大きく関わっています。「幸せホルモン」とも呼ばれるセロトニンは、一定リズムの運動や定期的な運動、太陽を浴びることで分泌され、心の安定に欠かせません。セロトニンは、体温調節中枢に深く関わっており、適度に分泌することで血行が改善され、寝つきがよくなる効果も。逆にセロトニンが足りなくなると自律神経が乱れ、イライラしたり、やる気がでなくなったりしてしまふことがあるようです。たまには家族で、目的のない散歩も楽しんでみては如何でしょうか。

園では運動遊びや体操を通して身体機能を高めています。一番自然に取り込めるのは、やはり自由遊びに集中しているときではないでしょうか。起伏のある坂道や土手の上り下り、雲梯渡りやスクーター漕ぎなど、指示もなく友だちと夢中になって取り組んでいる遊びの中こそ健康な体は作られていくと思います。寒暖の差を感じる頃。突然の発熱も多うがいや手洗いの励行を続けて冬に備えてまいります。

園長

**うちの子どもはどんなタイプ??**

子どものタイプ別による

- 引っ込み思案タイプ** → 大人の関わり方 結果より経過を褒める 「リレー」番だったね! → 「一生懸命走っていたね!」 ※自信が持てる声かけ 答えは1つではなく様々な考え方ができることを伝える。
- ロベたタイプ (自分を表現する事が苦手・自信がない・言葉を吸収している時期)** → 子どもの意見を聞く質問をする。言葉を習得できるようにたくさん話しかけたりお話を読んであげたりする。
- 人の話を聞かない! 自分勝手タイプ (視野がまだ広がっておらず自分だけの世界にいます。)** → 折り紙をさせてみる 「角と角を合わせて折ってね」→ **指先調整力**が高い子は人の話を聞いて、角と角をしっかりと折り合わせる事ができる。

**自分のことは自分でします!!**

園では、子どもたちと月ごとのお言葉を覚えています。11月は「自分のことは自分でします」なのですが、毎日の生活の中で、「自分で自分のことをしている」「お手伝いを自分の役割として行っている」「自分で靴を履く」などをしていけば、自然と指先調整力は付いてくるのです。つまり、「肉体的にも精神的にも『自立』ができています」のです。自立ができていようと、人の話を聞かない＝落ち着きがない＝自立ができていない＝指先調整力が育っていないということになります。

逆に言うと、まず、**指先調整力を育てれば良い**のです。

まずは、**ボタンを留める**  
・ひもを結ぶ  
・園に行く準備をする

※身の周りの事を自分で行う

ただし、「やりなさい」というと逆効果。今はまだ、指先の力が無いので、できる力が無い状態です。「ゆっくりでいいからやってみて! あなたならきっとできるよ!」と、やり方を伝えて自分でチャレンジしてもらおうのです。その時の声かけは、怒らず、励まして。できてもできなくても「頑張ったね!」と褒めて下さい。自立を助けるとは、自立の仕方を伝えて、後は**励まし、待つ**ことです。

副園長